

人権学習展開例 第5・6学年共通

- 主題名 正しく判断をして相手のことを考えて行動しよう
- 教材名 こんな時 あなたならどうする？
- 人権学習の視点 個別的な視点「社会情勢の変化等により顕在化している人権にかかわる課題」
(インターネット社会における人権の尊重)

●主題・教材について

近年、スマートフォン等の所有率の増加とともに、インターネットの利用の拡大が進む中、児童の間でも SNS やコミュニケーションアプリの利用に関わる問題がよく見られるようになった。

コミュニケーションアプリは、いつ、どこでも会話のようにやりとりができるという利点から、児童の中には、友だちとの仲間意識を高める目的で必要以上に連絡を取り合おうとすることがよくある。その中で、相手もいつでも返信できるという意識でいると、返信がすぐに来ないことに不満を抱いたり、そのことが原因でトラブルが起こることもある。

本教材ではこれらの機器を使うことによって発生する可能性のある問題に焦点を当て、近年、大きな問題となっているネットいじめに対する指導も視野に入れながら、相手のことを考えた上での正しい判断・行動ができる実践的態度を養いたい。

●ねらい

相手のことを考えた上での正しい判断や、状況をより良くするための行動ができる実践的態度を養う。

●関連する教材

- 人権学習資料集<小学校編Ⅱ>電子メールがきたよ（4年生用）
- 人権学習資料集<小学校編Ⅲ>「掲示板」って知ってる？（5・6年生用）

●本時の展開

※実施にあたっては、スマートフォン等を所有していない児童もいることから、所有していることを前提とした展開にならないように留意すること。

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入	○コミュニケーションアプリの良さを確認させる。	一斉	○コミュニケーションアプリの良さについて考える。 ・いつでも連絡がとれる。 ・離れていてもすぐ連絡がとれる。	○離れていても会話のようにやりとりができる。など	資料
	○アプリ内の状況を理解させる。	一斉	○アプリ内で起きていることについて理解する。	○5分ルールを守らなかった池ちゃんが仲間外れになっていることをつかませる。	
	○本時の学習課題を知らせる。	一斉	○本時の学習課題を知る。	○自分が山ちゃんならどのようなメッセージを送るかを考える。	
展開	自分ならどのような行動をとるか考えよう				
	○自分が山ちゃんならどのような行動をとるか考えさせる。	一斉	○自分が山ちゃんならどのようにするかを考える。 ・トークルームに加わる。 ・どうしていいかわからない。 ・すごく悩む。	○「自分も仲間外れにされそう」、「怖い」などの意見も共感的に認める。	

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・ 教具
展 開	○この場面での問題点を整理させる。	個別	○問題点を考えワークシートに書く。 ・メッセージが返ってこないだけで仲間外れにするのはおかしい。 ・5分ルールがあること自体おかしい。 ・色々な状況があるのだから、それを理解するべき。	○5分ルールが相手の為でなく自分勝手なルールであること、相手には様々な状況があること、メッセージが返ってこないだけで仲間外れにしていることを確認させたい。また、相手の様々な状況について具体化させる。 補助発問 ・5分ルールは本当に相手のためなのかな。 ・メッセージはいつでも必ず返すことができるのかな。	ワークシート
		一斉	○自分が書いたものを発表し、全体で問題点を整理する。		ワークシート
		一斉	○問題点で共通していることを確認する。	○トークルームで起こっている状況が、自分勝手に相手の状況や気持ちを考えられていないことをおさえる。	
		もう一度考えてみよう			
	○他の人の意見を聞いた上で、もう一度考えさせる。	個別	○自分が山ちゃんならどのようにするかを考える。	○問題点の整理を生かして考えさせる。 ○個人で考えさせる際に、迷って意見が出せないことも予想されるが、その際は迷う部分も含めて考えるようにさせる。 ○このようなことがいじめの始まりとなり、自分の行動で池ちゃんのこれからが左右されるかもしれないことに気付かせる。	ワークシート
グループ 一斉		○グループで考えを話し合う。 ○グループで出てきた考えを全体で話し合う。	○正しい結論を出すことだけが目的ではなく、あるべき姿や目指すべき姿と実際の行動との隔たりをどのようにして埋めていくのかを話し合いの中で深めていく。 ○話し合いが進展しない場合、「状況をより良くするために」「相手のことを考える」というポイントを示すことで実践的な考えを持たせたい。		

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・ 教具
まとめ	○相手のことを考え、状況をより良くしていくことの大切さを確認させる。	一斉	○教師の話を聞く。	○同じようなケースは実際の生活場面でも考えられることを具体的に確認する。 ポイント ・問題点を正しく見つめること ・相手のことを考えて行動をすること ・人間関係をより良くしていこうとする視点を大切にすること	ワークシート
	○学習で感じたことを書かせる。	個別	○思ったこと、感じたことを書く。 ○書いた感想を発表する。	○授業を通しての心の変化など、全体交流を反映させて感想を書かせる。 ○数名に発表させる。	

●評価

相手のことを考えた上での正しい判断や、状況をより良くするために行動できる実践的態度が養えたか。

平成 28 年度人権擁護啓発ポスターコンクール入選作品



京都府人権擁護委員連合会長賞
南丹市立八木西小学校 5年
治田 紗也奈 さん